

2023年2月10日

小金井市長 白井 亨様

小金井市生涯学習部長 梅原啓太郎様

小金井玉川上水の自然を守る会

共同代表 橋本承子 田頭祐子

平素より玉川上水の自然環境を守る市民活動へのご理解を賜り、深く感謝申し上げます。また、本日は白井新市長ご就任後の公務ご多忙の中で、当会との面談のお時間を頂けましたことに改めて感謝申し上げます。

市の「玉川上水・小金井桜整備活用計画」によるモデル事業（2010年～2012年）で、玉川上水のケヤキなどの伐採が開始されて以来、当会の活動も始まりました。この間、市生涯学習課長はじめご担当職員の方々と意見交換を行い、伐採現地での立会や東京都水道局との意見交換、市への要望書や市議会への陳情の提出など行ってまいりました。この計画に沿って樹木の伐採が進むと、緑陰が失われ住環境は悪化しました。周辺の景観が大きく変わったことにも、市内外から驚きや憤りの声が当会へ多数寄せられました。近隣市の住民だけでなく、玉川上水の緑やいきもの、自然環境を守る研究者や活動団体との連携が生れ、シンポジウムを共催し、近隣の高校の映画部やTV局からは取材なども受けてまいりました。

東京都が2009年に策定した「史跡玉川上水整備活用計画」も、小金井市の「玉川上水・小金井桜整備活用計画」も、計画策定後10年以上経過しながらも事業は完了していません。それに対する適切な検証・評価もありません。この間に地球規模で温暖化は深刻さを増し、小金井市は昨年「気候非常事態宣言」を発出しました。名勝小金井サクラの保全や整備は行いつつも、将来世代へツケを廻さない整備の在り方が、何より求められる時代となっています。

そこで本日は当会のこれまでの活動から、新市長に対し以下の3点を要望いたします。公平な視点で市民のニーズをご理解いただき、多様な市民・専門家による計画の点検・評価を行っていただくようお願い申し上げます。

- (1) 「玉川上水・小金井桜整備活用計画」は、現状に対する市民アンケートを取るなど、桜以外の樹木の皆伐後の検証と見直しを行って下さい。
- (2) 法面保護の観点からも生物多様性を軸にして、桜とそれ以外の樹木の適度な共生を図ってください。
- (3) 上記の観点は、「小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会」の委員構成を見直して、市民参加による検証・評価の上で整備を進めてください。

以上